



膠匙

にかわさじ



概要

膠匙（にかわさじ）は、日本画制作の際に、膠鍋（にかわなべ）に入った膠をかき混ぜて溶解する時や、膠液をすくい取り絵具皿に注ぎ入れる時に使用する匙です。

銅製、真鍮製などがあり、柄の部分は膠鍋から膠液がすくいやすいようにカーブがつけられています。銅製のもはその成分が膠の腐敗を多少防ぐ効果があるともいわれています。また、膠匙の代用品として、日常使用しているティースプーンを使用しやすいように曲げて加工し利用することも可能です。

膠匙は日本画の材料を取り扱う画材店で購入でき、水匙（みずさじ）等の製品名で販売されています。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

Y

Z

数字

膠液をつくる（三千本膠の場合） 参考例 1



手順 1. 三千本膠 1 本を布でくるみ、膠鍋に入る大きさに折ります。



手順 2. 折った膠を膠鍋に移し、50～100ccの水で浸します。これを一晚置き、柔らかくします。



手順 3. 柔らかくなったら、湯煎で煮て溶かします。その際、沸騰させないようによくかき混ぜながら溶かします。



手順 4. ガーゼをかけたボウルを用意し、膠が完全に溶けたらボウルに注ぎ入れます。ガーゼで漉して不純物を取り除いたら完成です。

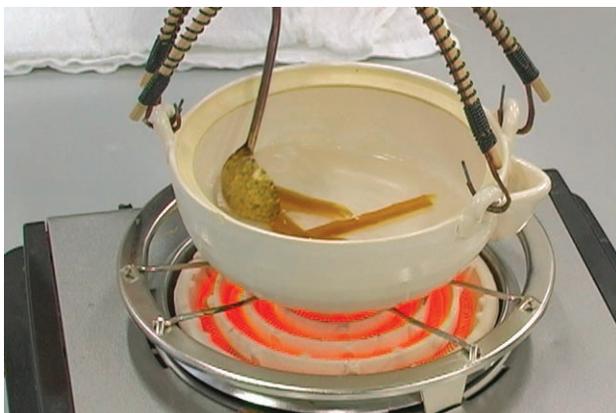
膠液をつくる（三千本膠の場合） 参考例 2



手順 1. 三千本膠 1 本を布でくるみ、膠鍋に入る大きさに折ります。



手順 2. 折った膠を膠鍋に移し、50～100ccの水で浸します。



手順 3. 膠鍋が割れないように直火を避けて温めます。その際、膠鍋の底に膠が付着しないよう、膠匙でかき混ぜます。



手順 4. 沸騰しそうになったら電熱器からおろしてかき混ぜます。冷めてきたら、溶けきっていない膠を溶かすため、再度電熱器にのせて温めます。完全に溶けるまで、これを何度か繰り返します。



手順 5. ガーゼをかけたボウルを用意し、膠が完全に溶けたらボウルに注ぎ入れます。ガーゼで漉して不純物を取り除いたら完成です。